

平成21年度 仙台市小学校長会生徒指導部会 研究のまとめ

生徒指導部では、「教育相談機能を生かした学校経営と校長の役割」とテーマを設定して、今年度より「教育相談」に焦点を当てて調査研究を進めてまいりました。

多様な諸問題の早期解決や未然防止のためには、校内の教育相談機能を高めていくことが重要であります。そこで、市内全小学校長を対象にアンケート調査し、各校の教育相談の現状を把握するとともに、スクールカウンセラーやさわやか相談員の実態を調査し、有効活用も図ることを目指した取り組みです。

お陰様をもちまして、皆様のご協力により今年度の調査結果がまとまりました。今後、教育相談を推進する上で、参考資料として役立てていただければ幸いです。

「教育相談機能に関する調査」

調査の方法について

1 方法

仙台市小学校長への質問紙によるアンケート調査

2 調査対象数

仙台市立小学校 124校 (分校がある小学校も1校とする)

回収校 124校 (100%)

3 調査期間

平成21年10月1日～10月16日

4 調査紙内容

各校の教育相談の推進状況と課題や校長のかかわり方

5 調査結果について

- ① 教育相談を推進するための校内組織
- ② スクールカウンセラーとさわやか相談員の活用
- ③ 他機関との連携の進め方
- ④ 課題解決を図るための校外の人材活用
- ⑤ 校長のかかわり方や役割

各小学校には調査研究のまとめを送付いたしましたので、詳細につきましては、そちらをご覧ください。

これまでの皆様のご協力に感謝申し上げます。